

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋

今の時期、小学校の校庭は青々とした芝で覆われています。子どもたちがいない時間帯には、いろいろな野鳥がやってきます。一番多いのはムクドリで、下校直後にやってきて、何かついばんでいます。どうも、芝の肥料が好みらしいのです。施肥をした翌日には「団体様」でやってきます。

先日、子どもたちがまだ登校していない7時過ぎに、校庭に白い野鳥が1羽遊んでいました。ハクセキレイでした。特に用事があったわかではなさそうですが、芝の上をのんびりと歩き回っていました。クモやミミズを好むので、土の中の虫を探していたのかも知れません。

あまり人を恐れないようで、私が近づいてシャッターを押しても、逃げずにポーズをとってくれました。慣れると、人の手からも餌を食べるようになるそうです。都会でもバードウォッチングができるのは、有難いことです。(2023年6月下旬/附属小学校校庭で撮影)

